



ひがし野

教育目標

真理(まこと)を求める生徒
情操(こころ)を深める生徒
身体(からだ)を鍛える生徒

高め合い 磨き合い 感動し合い「愛」いっぱいの真岡東中

令和2年3月発行

真岡市立真岡東中学校 Tel.82-2535 真岡東中学校HPでもご覧いただけます

校長室から

<3月・弥生・March>

「梅一輪 一輪ほどの 暖かさ」を肌で感じる季節となりました。いよいよ3月です。

この句は諺ではありませんが、早春によく聞かれる松尾芭蕉の弟子、服部嵐雪(はっとりらせつ)の詠んだ俳句です。この句は次のように2つの解釈があるそうです。

- ・梅が一輪咲き、それを見ると、微かではあるが、一輪ほどの暖かさが感じられる
- ・梅の花が一輪、また一輪とだんだん咲くにつれて、少しずつ暖かくなっていく

どちらの意味に取るでしょうか。前者は、寒さの中ほのかな暖かさにじんわりと心がふるえる様子、後者は、聞こえ始めた春の足音に心躍らせる様子に感じられるとされています。まだ寒さの残る中、春の花々に先駆けて咲く梅の花は、昔から人の心をとらえてきました。平安時代中期頃までは、「花」と言えば桜ではなく、梅を指したそうです。その梅も、そろそろ見頃でしょうか。

さて、学校は3月9日(月)が卒業式です。ぜひ感動的な卒業式にしたい、3年生が義務教育9年間で「有終の美」を飾るべく卒業式を迎えられるようにしたい、1・2年生は感謝の心で3年生を送り出したい…そんな熱い思いで、全生徒と教職員がともに高い目標を目指して頑張っています。

3年生…朝や昼休みの時間も惜しんで受験勉強に励んでいる姿から、努力することの美しさが伝わってきます。3年生全員が、納得いく進路に歩んでいけることを願っています。すでに進路が決定している3年生にとっても、進路先で最初から力を発揮できるように、今、学力をしっかりと蓄えておこうと学習に励んでいます。本当に頼もしく模範となる3年生です。

2年生…「立志式」で多くの方々を感動させ、さらに自信をつけたように思います。引き続き取り組んだ「自然教室」(2/25~28)でも実行委員会を中心に、最高の仲間と有意義な活動を展開しようと計画し実践していました。学習に手を抜くこともなく、この1か月で一段と成長したように感じ、素晴らしい最上級生になることが大いに期待できる2年生です。

1年生…学年末テストへ向けて多くの生徒が熱心に取り組んでいました。テスト前の部活動中止の意味をよく理解し、さらにテスト後もしっかり復習をしていたようです。何事にも努力する姿勢は必ず自分自身を成長させてくれます。「中学校入学説明会」で小学6年生が来校したことで、先輩となる自覚が芽生えてきた成長著しい1年生です。

どの学年においても、この1年間の成長ぶりは目を見張るものを感じます。真岡東中学校で学んだことに誇りと自信を持ち、培った友情と仲間との絆を糧に自分を信じて、4月からも自分の道を力強く歩み続けていくことを期待しています。

茨城県立高校一般入学共通選抜…3月4日(水)

栃木県立高校一般選抜…3月5日(木)

実力テスト(1・2年)…3月5日(木)

卒業式…3月9日(月)

修了式…3月24日(火)

小中学校の合同研修会

…2/19(水)は真岡東中学校区の小中学校合同研修会でした。小中学校の教職員が、講師を呼んで講演会を開いたり共通テーマについて共に学んだりしています。また、情報交換をして連携を深め、4月からの新入生をスムーズに受け入れることができるようにもしています。このように、小中学校が合同で研修し、連携していくことで生徒の理解に努め指導に生かすようにしています。

私たち教職員にとって、子どもの成長・発達した姿と笑顔に出会えた時の喜びは、まさに教師冥利に尽きると言えます。そう言える経験を増やしていきたいと考えています。



「旅立ちの日」の合唱練習

